

輪

新潟大学附属特別支援学校
学校便り 第 483 号
令和 3 年 12 月 23 日発行

研究会の御礼

校長 疋田 敦士

令和 3 年度も昨年度同様に、新型コロナウイルスの感染対策を講じながらのスタートとなりました。しかしながら、昨年度との大きな違いは「できる工夫」を考えながら、コロナ禍に適した教育活動を進めることです。研究会に向けても同じスタンスで臨みました。夏に全国的な感染拡大が見られ、本県にも特別警報が発令されました。昨年度のことが頭をよぎりましたが、ワクチン接種の広がりとともに新規感染者数も減少し、当日は対面とオンラインによる、当校初のハイブリット型での研究会を 2 年ぶりに開催することができました。全国的には、オンラインが主流の中、研究主任をはじめとする教職員の「少人数でも良いので、フェイス・トゥ・フェイスで授業について語り合いたい」という研究に対する熱い思いから実現に至りました。

当日の公開授業では、各学部とも子供たちが生き生きと活動に取り組む姿が見られました。小学部の授業では、様々な形に加工されたプールスティックを手に、時間いっぱい教師や友達と夢中になって遊び続けたり、声や気持ちを合わせ、仲間と協力して大好きなメニューを作り上げ、楽しさを共有したりしていました。中学部の授業では、バスの車内放送をよく聞いて、目的のバス停で確実に降車ボタンを押すことができたり、友達と電話をかける相手を相談し、分かりやすく聞いたりしていました。高等部の授業では、どっぺり坂の清掃について自分たちの作業を厳しい目で振り返り、改善点を積極的に話し合ったり、「お客さんのために」を合言葉に、カフェ『glad』で気持ちのこもった接客を行ったりしていました。通級指導部の授業では、自分の得意なやり方でこれまでよりも多くの文を書くことができ、自信を高めていました。また、その後の協議会でも研究テーマに沿って活発な意見交換がなされ、研究を深めることができました。

研究会で多くの成果を残せたことは、これまで当校の研究を支えてくださった、研究助言者、司会者、授業づくりに協力いただいた地域や関係機関の皆様、そして保護者の皆様のおかげと感謝申し上げます。これからも当校は、特別支援教育の今日的課題を捉え、子供たちの確かな自立と社会参加に向け、子供たちを中心に据えた授業づくりを通して、研究を進めてまいります。引き続き、関係の皆様からのご支援・ご協力をお願いいたします。



2学期を振り返って



「楽しかったよ！おいしかったよ！2組校外学習」

小学部2組担任 山本 綾

10月に阿賀野市へ校外学習に出掛けました。「わくわくヒルズ」では、エアートラックやボールプールで体を動かしたり、人形や車を使って友達や先生と一緒に遊んだりして楽しみました。昼食場所の「阿賀屋」への移動には阿賀野市営バスを利用し、バス停に並んで待ったり、マナー良くバスに乗ったりすることができました。お昼ご飯は、ラーメンやオムライスなど、選んだ料理をお腹いっぱい食べました。思う存分楽しみ、おいしい物を食べ、大満足の1日でした。そして、11月の生活単元学習では、学校に「わくわく2組ヒルズ」を作りました。「絵本を置きたい」「お店屋さんを作りたい」など、みんなでアイデアを出しながら楽しい「2組ヒルズ」ができました。



「学級の仲間と一緒に楽しんだ宿泊学習」

小学部3組担任 古川 雄基



「3組みんなで楽しもう」を合言葉に、マリニピア日本海での校外学習では、3つのグループに分かれて、自分たちで見学順を決めて回ったり、自分と家族にお土産を買ったりしました。また、夕食と朝食は校内に設けた模擬店にチケットを持って買い物に出掛け、注文した商品と交換をしました。「〇〇さんは唐揚げ弁当だね。」「ハンバーグ、一緒だね。」「おいしいね。」などと友達同士で会話を楽しんだり、協力して準備や片付けをしたりして、チームワーク抜群の3組でした。学級6人で、様々なことにチャレンジし、友情を深めた楽しい2日間になりました。

「路線バスってこわくない！携帯電話ってこう使うのか！」

中学部1年担任 近藤 美里

中学部では、2学期の社会生活の学習で、Aグループは「路線バス」、Bグループは「携帯電話」の学習に取り組みました。路線バスの学習では、乗車を模擬体験できるシミュレーターでの活動や、実際の路線バスに乗る活動を通して、「あ！次だ！」と車内放送を聞いて降車ボタンを押し、自信をもってバスを降りる姿が見られるようになりました。



携帯電話の学習では、課題を解決するミッション形式の活動を通して、「〇〇先生に掛けてみようかな」と誰に・いつ・どんな電話を掛けるかを自分で考えて、携帯電話を使う姿が見られるようになりました。3学期も「面白い！」「こういうことか！」と感じられる体験的な学習活動を通して、「家庭生活への興味・関心」を育てていきたいと思っています。



「最高に楽しかった！1泊2日の宿泊体験」

高等部2年担任 大滝 西一郎

11月1日、2日に、高等部2年生は宿泊学習を行いました。「大きなお風呂にみんなで入りたい！」「ハンバーグ弁当が楽しみ！」など、一人一人が楽しみをもちながら活動に取り組みました。宿泊施設の「ゆいぽーと」では、体育館で軽い運動を楽しんだり楽しみにしていた入浴や食事を満喫したりしながら、ゆったりと過ごすことができました。また、2日目は校外学習として南区の「白根大凧の館」で凧作りを体験したり、弥彦村でロープウェーの乗車や弥彦神社の散策をしたりして、新潟の文化にも触れることができました。今回の活動を通して新潟の魅力に触れるとともに、仲間同士の絆をさらに深めることができました。

3学期は、1年間のまとめの時期であり、最高学年に向けての準備の時期となります。この経験を生かして、さらに一歩成長する姿を期待しています。



12月10日(金)

PTA常任委員会③報告

令和4年度PTA役員選考を開始します。

(1) 「会長候補の選出」

現会長が中心となり、所属部内の会員に働き掛け、次期候補者を選出します。

(2) 「副会長候補の選出」

現副会長が中心となり、所属部内の会員に働き掛け、次期候補者を選出します。

(3) 「学級代表候補の選出」

学級代表が声掛け役となり、候補者に働き掛けを行い、次期候補者を選出します。選出に当たっては副会長の候補選出を優先します。



↑12月8日(水)第2回学校運営評議会に和田PTA会長がご参加されました。



↑12月10日(金)PTA常任委員会進行は、河内副会長が担当されました。

【補足】

- ・各学部や学級によっては、すでに取り決めがあるかと思えます。原則として、人選や候補者との折衝は、保護者会員の皆様へ委嘱しています。選考にかかわるご相談は当該学部代表(副会長)まで直接お願いします。
- ・R4の小1組、中1年、高1年学級代表は、4月の入学式にて新1年生会員を含めて選出することもできます。但し、事前の約議や個人希望があればこの限りではありません。学級の保護者同士で話し合い、確認ください。
- ・最終的な**R4役員候補者の報告は、令和4年2月28日(月)にPTA常任委員会③兼役員選考委員会②**となります。まだ時間もありますので、十分吟味ください。

大樹部の事業整理が進む

昭和期に、父親保護者が中心に立ち上げた有志組織「大樹の会」は、今年度よりPTA「大樹部」へ吸収合併し、新たなスタートを切りました。年度始に予定していた「すなやま会」の参画は、感染症のため会自体が中止となったため停止しましたが、今年度は大樹の会から引き継いだお志で、長年手つかずだった体育館放送機器の営繕を行い、事業成果を挙げました。一方、これまで大樹の会が行ってきた募金活動については、大樹の会がPTAの所属下に加わった都合、実施するには総会の承認と規約改正が必要となります。また募金を行った場合、会員からすでにお預かりしているPTA会計と合わせて二重にお預かりする形となります。学校からもPTAからは十二分にご支援いただいているのご意見がきかれました。

そこで、大樹部部長並びに常任委員会で検討した結果、**今後は大樹の会が行ってきた募金活動を行わない**ことといたしました。これまでお預かりしてきたお志は、次年度も校舎整備に活用していただく予定です。



←「大樹の会」の足跡を残す意味も含め、正面玄関左に、会員や来校者に学校の情報を発信する掲示板(大樹の掲示板)を設置することを検討しています。

すなやまクラブの再始動・PTAが賛助を実施

すなやまクラブは、これまで「学生と保護者有志」による運営でしたが、**今年度より学校が「学校の事業」として再編し**、「未来の特別支援教育を担う若手人材の育成」や「生徒と学生との貴重な交流の機会」を目的に再始動します。

参加募集の仕方や申し込み、お迎えなど、毎回のクラブ利用の形は従来と変わりありませんが、これまで参加希望者の**保護者**にお願いしてきた**見守り当番は不要**となります。どんどん参加させてください。

またPTAでは、この事業を賛助することとし、**PTA会計より補助**を実施することや、**すなやまクラブの会計監査を、PTA会計監査員が担当**することとしました。今後の末永いすなやまクラブの活動をPTAとしても応援し、見守っていきましょう。



←生徒とかかわり学生たちにも学んでもらい、未来の教員になってほしいですね。

報告 第43回特別支援教育研究会 成功に終わる

12月3日(金)に、学校では第43回特別支援教育研究会が2年ぶりに開催されました。当日は、オンラインで北は北海道、南は沖縄の全国から、たくさんの教員が参加し、学校の最新の「授業」で子どもたちの笑顔や頑張る姿を見て、先生方と協議し、大いに学び合いました。

学校では今後も伝統的な研究の要「授業づくり」に力を注ぎ、積極的に発信を進めていくそうです。また、今後の研究会は「授業」公開や協議会の開催を重視し「参加しやすい研究会」の在り方を模索していくとのことです。

PTAも引き続き応援していきたいと思えます。



子供たちの「安全・安心」を第一に ～学校の感染症対策～

大型冷風機を導入

体育館に大型冷風機が導入されました。真夏の暑い体育館の活動が、少し「涼しく」なります。次夏に体験できるかもしれません。



体育館に換気システムを配備

体育館の両側面に、外気取入用の吸気フードと内気排出用の換気扇が設置されました。現在体育館は、24時間換気が行われています。



検温機能付き手指消毒スタンド新設

来校者に一層確実に健康確認を促すことができます。より多くの来校者の管理を、効率よく確実に行うことができるようになりました。ご来校の際には、ぜひご活用ください。



CO₂濃度測定器を各教室設置

各学部全教室に、換気の基準を示すために設置されました。

換気が必要になると色でお知らせしてくれます。寒い冬も適切な換気が効率よく行われています。



新時代に向けて

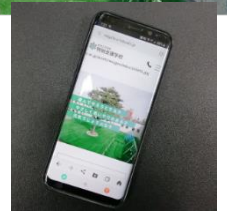
学校をどんどん「新しく」!

学校ホームページを「リニューアル」!

PTAではこの度、学校のホームページをリニューアルしました。新しいホームページには、新たに「PTA」のページが設けられています。今後、掲示板としての活用も検討し、今後最新のPTA情報を随時アップロードしていく予定です。会員の皆さんもぜひ、ご覧ください。



↑新しいホームページは新潟大学のホームページデザインに合わせたものです。スマホでもとても見やすくなりました。→



高等部で「制服導入計画」が進行中

高等部では、教育効果の向上を主な目的に、令和5年入学生から指定の制服を導入する計画を進めています。附属特別支援学校高等部生徒としての誇りと自信を高め、旅行や地域活動に際して集団としての一体感を感じさせることや、就職活動をはじめ、生徒の対外的活動を支えるドレスコードを得る利点があります。全国多くの特別支援学校高等部が指定制服をもっている現状です。令和4年度のPTA総会で、モデル案が披露されます。

1月22日(土)すなやま祭開催予定!

来る1月22日(土)に、学校では「すなやま祭」が予定されています。PTA事業はありませんが、令和元年度、2年度卒業生を招いた「すなやま会」の発表が予定されているそうです。また、合わせて「すなやま作品展」の開催も同日行われる予定です。今年は、対面でご来校された際の保護者待機場所が、展示会場となります。ぜひ多くの会員の皆さんも「力作」をお寄せください。詳しくは後日配布の案内をご覧ください。